

多文化共生社会をめざして

— すべての人がつながり、ともに築く地域の未来 —



外国人集住都市会議



- 【群馬県】 伊勢崎市・太田市・大泉町
- 【長野県】 上田市・飯田市
- 【岐阜県】 大垣市・美濃加茂市・可児市
- 【静岡県】 浜松市・富士市・磐田市・掛川市・袋井市・湖西市・菊川市
- 【愛知県】 豊橋市・豊田市・小牧市・知立市
- 【三重県】 津市・四日市市・鈴鹿市・亀山市・伊賀市
- 【滋賀県】 長浜市・甲賀市・湖南市・愛荘町
- 【岡山県】 総社市

外国人集住都市会議の概要

1. 設立趣旨

外国人集住都市会議は、ニューカマーと呼ばれる南米日系人を中心とする外国人住民が多数居住する都市の行政並びに地域の国際交流協会等をもって構成し、外国人住民に係わる施策や活動状況に関する情報交換を行うなかで、地域で顕在化しつつある様々な問題の解決に積極的に取り組んでいくことを目的として設立するものである。

また、外国人住民に係わる諸課題は広範かつ多岐にわたるとともに、就労、教育、医療、社会保障など、法律や制度に起因するものも多いことから、必要に応じて首長会議を開催し、国・県及び関係機関への提言や連携した取り組みを検討していく。

こうした諸活動を通して、分権時代の新しい都市間連携を構築し、今後の我が国の諸都市における国際化に必要な不可欠な外国人住民との地域共生の確立をめざしていく。

(2001年5月7日)

2. 開催経緯

2001年5月7日、浜松市で第1回会議を開催し、設立趣旨を了承。その後、担当者会議を重ね、同年10月19日、「外国人集住都市公開首長会議」を浜松市で開催し、外国人住民との地域共生に向けた「浜松宣言及び提言」を採択。11月30日には、総務省、法務省、外務省、文部科学省、文化庁、厚生労働省、社会保険庁の5省2庁に「浜松宣言及び提言」の申し入れを行った。

2002年度は、前年度と同じく浜松市で第1回会議を開催後、関係省庁と会員都市首長の意見交換の場となる会議の開催を決議し、担当者会議を重ねるなかで、11月7日に「外国人集住都市東京会議」を東京都内で開催し、「14都市共同アピール」を行った。

2003年度は、豊田市で第1回会議を開催後、担当者会議を重ね、11月11日に厚生労働省、日本経団連、JICA研修員を交え「外国人集住都市会議シンポジウム in 豊田」を開催した。

2004年度は、前年度同様豊田市で第1回会議を開催後、担当者会議を重ね、10月29日に豊田市で関係省庁ならびに日本経団連と会員都市首長の意見交換の場となる「外国人集住都市会議 in 豊田」を開催し、「豊田宣言及び部会報告」を採択し、日本経団連の奥田会長の記念講演を実施した。

2005年度は、多くの課題の中で最も緊急性の高い「子ども」に焦点をあて、4日市市が座長を務める2年間のテーマを「未来を担う子どもたちのために」とした。11月11日に「外国人集住都市会議よっかいち 2005」を、外国人当事者やNPO代表の参加も得て開催した。また、豊田宣言をベースに「規制改革要望書」を提出し、要望内容に対して関係省庁からの正式な回答を得た。

2006年度は、前年度に引き続き、同じテーマで調査・研究を進め、6月と10月に「規制改革要望書」を提出するとともに、11月21日に「外国人集住都市会議東京 2006」を開催し、「よっかいち宣言」を採択した。

2007年度は、美濃加茂市が座長になり、3ブロックに分かれ、「地域コミュニティ」、「外国人の就労」、「外国人児童生徒の教育」について研究、規制改革要望を行った。国の在留管理制度の見直しに即時対応するためにプロジェクトチームを結成。職員間の情報交換や、諸制度や課題への理解を深めるため、太田市・大泉町にて担当職員研修会を開催した。11月28日に美濃加茂市で「外国人集住都市会議 みのかも2007」を開催。

2008年度は、昨年度に引き続き、同じテーマで調査・研究を進め、6月及び11月に規制改革要望を行った。また、10月15日「外国人集住都市会議東京 2008」を開催し、「みのかも宣言」を採択した。

2009年度は、太田市が座長になり、3ブロック体制で、「正しく伝えること、伝わること」、「大人の日本語学習の仕組みづくり」、「外国人市民と共に構築する地域コミュニティ」について研究。6月には規制改革要望を行った。11月26日に太田市で「外国人集住都市会議 おおた 2009」を開催。景気低迷で外国人住民の雇用や教育、帰国支援といった問題が表面化する中、外国人の子どもの就学の義務化などを盛り込んだ国への緊急提言を採択した。

2010年度は、前年度に引き続き同じテーマについて研究を重ね、テーマごとに国や関係機関への提言をまとめた。11月8日に東京で「外国人集住都市会議東京 2010」を開催し、各ブロックの研究報告及び提言、「おおた宣言」の採択、外国人集住都市会議会員28都市間で「災害時相互応援協定」を締結した。

2011年度は飯田市が座長になり、3ブロック体制で「多文化共生社会における防災のあり方」「外国人の子どもの教育について」「外国人住民とともに構築する地域コミュニティ」について研究。同時に同年3月に国が策定した「日系定住外国人施策に関する行動計画」についても検証を行い、緊急を要する課題について国に対して7月に提言書を提出した。11月8日に飯田市で「外国人集住都市会議いいだ2011」を開催。会議では、「日系定住外国人施策に関する行動計画」の各施策や取り組みについて各府省庁と討論し、提言した。

2012年度は前年度に引き続き同じテーマで研究を重ね、テーマごとに国や関係機関への提言をまとめた。また、2012年7月からの新たな在留管理制度及び外国人住民に係る住民基本台帳制度への改正について研究し、8月1日に関係府省庁へ緊急提言書を提出した。11月12日に東京で「外国人集住都市会議東京2012」を開催。

外国人集住都市会議 会員都市首長プロフィール

凡 例	
都市名	
氏 名	ふりがな 【生年月日】
経 歴	
多文化共生社会実現の為に必要と考えること、取り組み・方針など。	



群馬県太田市

清水 聖義 しみず まさよし
【1941年12月7日生】

前 職	群馬県議会議員
就 任 年	2005年4月（旧太田市長、1995年～2005年）
当選回数	2期目（旧太田市長、3期）

外国人市民相談窓口の充実や帰国・外国人児童生徒受入促進事業の取り組み等の事業を進めてまいりました。住民基本台帳法の改正等が行われたなかで、より地方の声を反映した施策の充実が必要と考えます。



長野県上田市

母袋 創一 もたい そういち
【1952年7月6日生】

前 職	長野県議会議員
就 任 年	2006年4月（旧上田市長、2002年～2006年）
当選回数	2期目（旧上田市長、1期）

本市では、市の自治の最高規範として、「上田市自治基本条例」を制定しましたが、その中で、多文化共生について条項を設け、市民、市議会及び市は、多様な文化の共生を目指すまちづくりを進め、互いを尊重し合うよう努める旨定めています。



岐阜県大垣市

小 川 敏 おがわ びん
【1950年11月15日生】

前 職	会社役員
就 任 年	2001年4月
当選回数	3期目

大垣市では、今年度からスタートした多文化共生推進計画に基づき、「多文化共生で育む心豊かな地域社会」をめざすべき将来像として、外国人市民とともに誰もが暮らしやすいまちづくりの推進に努めてまいります。



岐阜県可児市

富田 成輝 とみだ しげき
【1953年1月17日生】

前 職	岐阜県環境生活部長
就 任 年	2010年11月
当選回数	1期目

2011年からスタートした『可児市多文化共生推進計画』の基本理念「みんなでつくる多文化共生のまち可児」を実現させるため、市民・行政・関係団体等が協力して、様々な取り組みを進めていきます。



群馬県伊勢崎市

五十嵐 清隆 いがらし きよたか
【1952年9月22日生】

前 職	群馬県議会議員
就 任 年	2009年1月
当選回数	1期目

伊勢崎市は、県内で最も多くの外国人住民が暮らしております。国籍や文化の違いを超えた、外国人住民を含めた全市民によるまちづくりをめざし、住民同士の連携や相互理解の推進に努めてまいります。



群馬県大泉町

齊藤 直身 さいとう なおみ
【1936年5月19日生】

前 職	(社)群馬県歯科医師会副会長
就 任 年	2009年5月
当選回数	1期目

総人口の約15%を外国人が占める大泉町では、日本での生活に必要な情報を外国人に正しく伝えることを多文化共生の基本とし、特に災害時などにおいて支援活動を行うことのできる外国人の育成にも力を入れているところです。



長野県飯田市

牧野 光朗 まきの みつお
【1961年8月16日生】

前 職	日本政策投資銀行大分事務所長
就 任 年	2004年10月
当選回数	3期目

リニア中央新幹線の開通を見据えた飯田市の将来像「小さな世界都市」実現のためにも、多文化共生社会の推進が重要となってまいります。市民・関係団体・事業所等と協働して様々な取り組みを進めながら、新しい地域文化の創造をめざします。



岐阜県美濃加茂市

渡辺 直由 わたなべ なおよし
【1945年8月6日生】

前 職	岐阜県教育委員会委員長
就 任 年	2005年9月
当選回数	2期目

現代は地域が抱える課題が複雑化、多様化しています。地域における外国人住民の暮らしを通して、年代、性別、言語、価値観など多様な文化を持つすべての住民の、よりよい暮らしを実現する共生社会を目指し、魅力あるまちを構築していきます。



静岡県浜松市

鈴木 康友 すずき やすとも
【1957年8月23日生】

前 職	衆議院議員
就 任 年	2007年5月
当選回数	2期目

グローバル化の進展により、国籍を問わず全ての市民が持てる力を十分に発揮し活躍できる地域づくりが重要になっています。市民の持つ文化的多様性を生かす視点を持って施策を展開し、新たなまちづくりに積極的に取り組んでいます。



静岡県富士市

鈴木 尚 すずき ひさし
【1946年11月21日生】

前 職	静岡県議会議員
就 任 年	2002年 1月
当選回数	3 期目

富士市では、「富士市国際化推進プラン」を策定し、「心通い合う多文化共生のまち ふじ」を目指して、日本人市民と外国人市民との交流イベントや日本語教室など、多くの施策に取り組んでいます。



静岡県磐田市

渡部 修 わたなべ おさむ
【1951年 4月16日生】

前 職	磐田市議会議員
就 任 年	2009年 4月
当選回数	1 期目

磐田市では、平成23年度に「第2次多文化共生推進プラン」を策定しました。「外国人市民と日本人市民の共同の取り組み」を新たに掲げ、お互いが文化や習慣の違いを認め合い、共に築く多文化共生のまちづくりを進めています。



静岡県掛川市

松井 三郎 まつい さぶろう
【1946年10月 6日生】

前 職	静岡県議会議員 当選（当選2回5年9か月間）
就 任 年	2009年 4月
当選回数	1 期目

掛川市は、総人口の約3.2%が外国人市民で、その内、永住資格をもつ外国人は約5.3%を占めています。市では、H22年度に多文化共生推進プランを策定し、行政だけでなく市民や企業との連携の下、住み良い都市づくりを目指しています。



静岡県袋井市

原田 英之 はらだ ひでゆき
【1943年 1月12日生】

前 職	静岡県健康福祉部長
就 任 年	2005年4月（旧袋井市長、2001年～2005年）
当選回数	2 期目（旧袋井市、2 期）

袋井市では、市民と行政のパートナーシップによるまちづくりを進めており、多文化共生社会の実現に向けて、外国人生活情報窓口の充実や日本語支援教室の開催、防災対策などの取組を推進しています。



静岡県湖西市

三上 元 みかみ はじめ
【1945年 1月 5日生】

前 職	(株) 船井総合研究所取締役
就 任 年	2004年12月
当選回数	2 期目

今年、市制40周年を迎える湖西市には、人口の5%以上を占める外国人市民が暮らしています。お互いが共助の関係を市民協働として築き、外国人と上手に共生している日本一の都市と言われるよう確かな歩みを刻みます。



静岡県菊川市

太田 順一 おおた じゅんいち
【1950年 4月28日生】

前 職	菊川町議会議員
就 任 年	2005年 1月（旧菊川町長1998年～2005年）
当選回数	2 期目（旧菊川町長、2 期）

本市では、将来像である「みどり 次世代 ～人と緑・産業が未来を育むまち～」を目指すため、7つの基本方針を掲げています。その1つ、「笑顔がうまれるまち」の実現に向け、外国人との共生の地域づくりの推進と交流活動の活性化に努めています。



愛知県豊橋市

佐原 光一 さはら こういち
【1953年11月10日生】

前 職	国土交通省中部地方整備局副局長
就 任 年	2008年11月
当選回数	1 期目

豊橋市では、ブラジル・パラナ州との間で、日本の教育制度の周知やブラジルの教育制度改革を目的に、相互に教員を派遣し、来日・帰国する子どもたちの支援と教育交流の促進に努めています。



愛知県豊田市

太田 稔彦 おおた としひこ
【1954年 4月30日生】

前 職	豊田市総合企画部長
就 任 年	2012年 2月
当選回数	1 期目

多文化共生社会は本市の目指す都市像のひとつです。外国人の定住化傾向が強まる中、外国人住民の存在を強みとして捉えて、地域社会での共生を推進し、共働によるまちづくりを進めてまいります。



愛知県小牧市

山下 史守朗 やました しずお
【1975年 7月 6日生】

前 職	愛知県議会議員
就 任 年	2010年 2月
当選回数	1 期目

日本人市民と外国人市民が、お互いに認め合い協力することができるまちを目指すため、地域・企業・行政が一体となって、住みよい地域づくりを行い、多文化共生を推進していきます。



愛知県知立市

林 郁夫 はやし いくお
【1960年 6月 1日生】

前 職	知立市議会議員
就 任 年	2008年12月
当選回数	1 期目

知立市は「いっしょにやろまい！」を合い言葉に「輝くまち みんなの知立」の創造を将来像に掲げています。さまざまな国籍や文化を理解しあい、日本人と外国人がともに安心して暮らせるまちづくりをめざしています。



三重県津市

前葉 泰幸 まえば やすゆき
【1962年4月7日生】

前 職	地方公共団体金融機構
就 任 年	2011年4月
当選回数	1期目

外国人住民を「大切な地域社会を支える人材」として認識し、互いの文化や価値観の違いを認め合いながら、日本語学習や生活環境支援事業などの各種取り組みを通じて、多文化共生社会の実現を目指しています。



三重県四日市市

田中 俊行 たなか としゆき
【1951年10月27日生】

前 職	三重県議会議員
就 任 年	2008年12月
当選回数	1期目

国籍や文化の違いにかかわらず、住民同士が地域の一員として参画する地域コミュニティ構築のための施策を推進しています。誰もが対等な構成員となり、共に支え合って暮らせる社会の実現による「住みたくなるまちづくり」を目指します。



三重県鈴鹿市

末松 則子 すえまつ のりこ
【1970年11月14日生】

前 職	三重県議会議員
就 任 年	2011年5月
当選回数	1期目

外国人住民の多様化が顕著となる中、その背景も複雑になってきています。すべての市民が行政サービスから排除されることのないよう、また多様性が社会の活力となるよう多文化共生社会の推進を行っていききたいと思っています。



三重県亀山市

櫻井 義之 さくらい よしゆき
【1963年2月25日生】

前 職	三重県議会議員
就 任 年	2009年2月
当選回数	1期目

亀山市に住む外国人と日本人とが共に安心して暮らしていくために、本年度で13年目となる「日本語教室」を開催するとともに今後も、市民活動団体と協力しながら活発な市民交流活動を推進します。

また、生活の利便性を高めるための情報についても引き続き、積極的に発信・提供していきます。



三重県伊賀市

内保 博仁 うちほ ひろひと
【1943年9月1日生】

前 職	伊賀市副市長
就 任 年	2008年11月
当選回数	1期目

外国人住民の生活相談や行政窓口での通訳等の支援事業だけではなく、外国人住民と日本人住民が安心して暮らすことができるように、お互いに助け合える関係を築ける地域づくりを関係団体等と連携して進めていきます。



滋賀県長浜市

藤井 勇治 ふじい ゆうじ
【1950年2月27日生】

前 職	衆議院議員
就 任 年	2010年3月
当選回数	1期目

「お互いを認め合い、すべての人がいきいきと輝くまちづくり」を基本理念に、「多文化共生のまちづくり指針」を作成しています。市民や市民団体などと協働体制を築きながら多文化共生を推進していきます。



滋賀県甲賀市

中嶋 武嗣 なかじま たけし
【1948年1月2日生】

前 職	滋賀県議会議員
就 任 年	2004年10月
当選回数	3期目

生活や文化の違いを超えて、外国人住民と地域住民がともに同じ市民として地域を支える共生社会をめざし、地域コミュニティ活動を支援し新しいまちづくりに取り組んでいます。



滋賀県湖南市

谷畑 英吾 たにはた えいご
【1966年9月11日生】

前 職	滋賀県職員
就 任 年	2004年11月(旧甲西町長、2003年～2004年)
当選回数	3期目(旧甲西町長、1期)

日本人住民と外国人住民とが双方向的に努力し、支え合うことのできる多文化共生社会の実現をめざし、昨年度策定しました、湖南市多文化共生推進プランの施策に取り組んでいます。



滋賀県愛荘町

村西 俊雄 むらにし としお
【1941年2月26日生】

前 職	旧米原町長(現米原市)
就 任 年	2006年3月
当選回数	2期目

愛荘町は滋賀県東部に位置する人口2万1千人の町です。宅地開発による人口増加が続いており、外国人住民の割合も3.4%を超え、若い世代と多文化が共生する可能性にあふれる町です。町の特徴を生かし、外国人住民が本来の力を発揮し、日本人と共に地域の担い手として活躍できるよう、「愛荘町多文化共生推進プラン」に基づいた施策の推進に取り組んでいます。



岡山県総社市

片岡 聡一 かたおか そういち
【1959年8月2日生】

前 職	国会議員(橋本龍太郎元首相)秘書
就 任 年	2007年10月
当選回数	2期目

人口減少社会の到来に、外国人を暖かく受け入れ共に暮らしていく地域レベルの取り組みは今後ますます重要度を増します。2010年に誕生した「総社ブラジリアンコミュニティ」を中心に外国人と共に考えながら、基礎自治体における移民受け入れの成功事例の構築を目指します。

外国人集住都市会議 アドバイザープロフィール



い ぐち やすし
井 口 泰

関西学院大学教授
少子経済研究センター長

1976年、一橋大学経済学部卒、労働省入省。1980～1982年、独・エアランゲン・ニュルンベルク大学留学。1992年、労働省外国人雇用対策室企画官。1994年、同外国人雇用対策課長。1995年、労働省退職、関西学院大学経済学部助教授。1997年、同教授。99年、博士号取得。2001～2002年、独・マックス・プランク研究所客員研究員。2006年～2010年、規制改革会議専門委員。主要著作：『外国人労働者新時代』（ちくま新書）『世代間利害の経済学』（八千代出版）ほか。



やま わき けい そう
山 脇 啓 造

明治大学教授
オックスフォード大学客員研究員

東京大学法学部卒業、コロンビア大学国際関係・公共政策大学院修了。専門は移民政策・多文化共生論。

総務省、法務省、文部科学省等国の外国人施策関連委員を歴任。また、愛知県多文化共生推進プラン検討会議座長、宮城県多文化共生推進条例策定懇話会座長、東京都地域国際化推進検討委員会委員長等、地方自治体の外国人施策関連委員も歴任。主著に『多文化共生の学校づくり—横浜市立いちよう小学校の挑戦』（共編、明石書店）等。



い け が み し げ ひ ろ
池 上 重 弘

静岡文化芸術大学教授

北海道大学文学部卒業、同大学院文学研究科修了。北海道大学文学部助手、静岡県立大学短期大学部専任講師、静岡文化芸術大学文化政策学部准教授を経て現職。専門は文化人類学、多文化共生論。静岡県多文化共生審議会委員、浜松市外国人子ども支援協議会会長、磐田市多文化共生社会推進協議会会長等。主著に、『ブラジル人と国際化する地域社会—居住・教育・医療—』（編著、明石書店）、『国際化する日本社会』（共著、東京大学出版会）。

外国人集住都市会議会員都市の外国人登録者データ

25 滋賀県長浜市
3,530人 / 124,695人 (2.8%)
①ブラジル ②中国 ③ペルー
26 滋賀県甲賀市
2,679人 / 94,224人 (2.8%)
①ブラジル ②中国 ③韓国・朝鮮
27 滋賀県湖南市
2,324人 / 55,061人 (4.2%)
①ブラジル ②ペルー ③韓国・朝鮮
28 滋賀県愛荘町
777人 / 20,981人 (3.7%)
①ブラジル ②中国 ③韓国・朝鮮

6 岐阜県大垣市
5,283人 / 164,306人 (3.2%)
①ブラジル ②中国 ③韓国・朝鮮
7 岐阜県美濃加茂市
4,789人 / 55,505人 (8.6%)
①ブラジル ②フィリピン ③中国
8 岐阜県可児市
5,765人 / 101,333人 (5.7%)
①ブラジル ②フィリピン ③中国

4 長野県上田市
3,845人 / 162,538人 (2.4%)
①中国 ②ブラジル ③韓国・朝鮮
5 長野県飯田市
2,387人 / 106,678人 (2.2%)
①中国 ②ブラジル ③フィリピン

1 群馬県伊勢崎市
10,424人 / 211,173人 (4.9%)
①ブラジル ②ペルー ③フィリピン
2 群馬県太田市
7,338人 / 220,121人 (3.3%)
①ブラジル ②フィリピン ③中国
3 群馬県大泉町
6,288人 / 40,980人 (15.3%)
①ブラジル ②ペルー ③フィリピン

29 岡山県総社市
787人 / 67,580人 (1.2%)
①ブラジル ②中国 ③韓国・朝鮮

20 三重県津市
8,041人 / 279,335人 (2.9%)
①ブラジル ②中国 ③フィリピン
21 三重県四日市市
8,276人 / 313,683人 (2.6%)
①ブラジル ②韓国・朝鮮 ③中国
22 三重県鈴鹿市
8,015人 / 202,142人 (4.0%)
①ブラジル ②ペルー ③中国
23 三重県亀山市
2,038人 / 50,001人 (4.1%)
①ブラジル ②中国 ③フィリピン
24 三重県伊賀市
4,561人 / 98,691人 (4.6%)
①ブラジル ②中国 ③ペルー

16 愛知県豊橋市
15,593人 / 380,538人 (4.1%)
①ブラジル ②フィリピン ③韓国・朝鮮
17 愛知県豊田市
14,068人 / 422,830人 (3.3%)
①ブラジル ②中国 ③韓国・朝鮮
18 愛知県小牧市
7,748人 / 153,344人 (5.1%)
①ブラジル ②中国 ③フィリピン
19 愛知県知立市
4,239人 / 70,451人 (6.0%)
①ブラジル ②中国 ③フィリピン

9 静岡県浜松市
25,138人 / 816,848人 (3.1%)
①ブラジル ②フィリピン ③中国
10 静岡県富士市
4,891人 / 260,559人 (1.9%)
①ブラジル ②中国 ③フィリピン
11 静岡県磐田市
6,702人 / 172,814人 (3.9%)
①ブラジル ②フィリピン ③中国
12 静岡県掛川市
4,038人 / 119,206人 (3.4%)
①ブラジル ②フィリピン ③中国

都市名
外国人登録者数 / 総人口 (外国人割合)
外国人登録者国籍別順位
基準日 / 2012年4月1日

13 静岡県袋井市
3,346人 / 86,888人 (3.9%)
①ブラジル ②中国 ③フィリピン
14 静岡県湖西市
3,222人 / 61,861人 (5.2%)
①ブラジル ②ペルー ③中国
15 静岡県菊川市
3,159人 / 48,537人 (6.5%)
①ブラジル ②フィリピン ③中国

外国人集住都市会議プログラム

時間	内容
12:00	開場・受付開始
12:45	開会・座長あいさつ(飯田市長) 来賓紹介、祝電披露 総合司会:池上重弘氏 (静岡文化芸術大学教授)
13:00	第Ⅰ部 ブロック提言及び首長報告 ◎三重・滋賀・岡山ブロック 「外国人住民とともに構築する地域コミュニティ」 ～互いに支えあえる豊かな地域づくりのために～ ◎長野・岐阜・愛知ブロック 「外国人の子どもの教育について」 ～未来を切り拓く学びの保障～ ◎群馬・静岡ブロック 「多文化共生社会における防災のあり方」 ～災害弱者をつくらないために～ ◎新たな在留管理制度及び外国人住民に係る住民基本台帳制度等に関する緊急提言について
14:35	第Ⅱ部 府省庁からの報告 登壇予定府省庁:内閣府、総務省、法務省、外務省、文部科学省、 厚生労働省、文化庁 コーディネーター:井口泰氏 (関西学院大学教授)
15:20	休 憩
15:30	第Ⅲ部 政府関係者等との討論 テーマ「多文化共生政策のあり方」 登壇予定者:井上洋氏(日本経済団体連合会 社会広報本部長) 出石直氏(日本放送協会 解説主幹) 浜松市長 飯田市長 政府関係者:調整中 コーディネーター:山脇啓造氏 (明治大学教授)
17:00	「いいだ宣言」発表(飯田市長) 閉会あいさつ
17:15	閉 会

※内容などにつきましては、変更となる場合があります。

同時開催

12:00 ～ 17:15	多文化共生をめざして活動する国際交流団体等パネル展
---------------------	---------------------------

外国人集住都市会議会員都市

伊勢崎市・太田市・大泉町・上田市・飯田市・大垣市・美濃加茂市・可児市・浜松市・富士市・磐田市・掛川市・袋井市・湖西市・
菊川市・豊橋市・豊田市・小牧市・知立市・津市・四日市市・鈴鹿市・亀山市・伊賀市・長浜市・甲賀市・湖南市・愛荘町・総社市